

「小川和紙マラソン」ゴールは目前！ラストスパート!!



裏表紙に関連記事

特集 P.2-3
「細川紙」の紙漉き技術
ユネスコ無形文化遺産
登録から**10年**
1300年
**時代を超えて
受け継ぐ「技」**

P.6
総合福祉センター
「パトリアおがわ」の方向性
**全6部屋に
エアコン設置**
貸館業務の早期再開へ

おがわ ぎがし

No.114

2024
12月定例会

会期
12/4~12/16

埼玉県小川町議会

P.12
議員の聴く × つなぐ
和紙作りを支える
楮かしき・楮むき
を取材



P.11
本格的な議論がスタート
「議員定数を検討
する特別委員会」
16人の
大きな一歩

特別号の表紙に使用した画像は、いずれも当町が誇る「細川紙」です。右手は「細川紙技術者協会」前会長の故・鷹野禎三氏が平成14年に漉いた紙で、左手は現会長・内村久子氏が漉いた紙です。時間の経過とともに「白さ増す」和紙は、天然素材（国産楮・町内産トロロアオイ）の証。1300年を超えて受け継がれてきた伝統の「技」をさらに後世へ！議会も応援しています！和紙に合わせてあしらった2色は「紫色」と「金色」。優れて価値があり気品漂う「高貴」なさまと細川紙のユネスコ無形文化遺産登録「10周年記念」をイメージしました。